

＝いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、
市内全校に広げるために＝

令和4年度 絆づくり成果交流会 実施報告書



なかなおいマーク

令和4年11月4日（金）
滝川市立小中学校（9箇所）
滝川市役所8階大会議室

滝川市教育委員会

令和4年度「絆づくり成果交流会」

=いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、市内全校に広げるために=



なかなおいマーク

期日：令和4年11月4日（金）

場所：市立小中学校（9箇所）
滝川市役所8階大会議室

《開 会》

1 オリエンテーション 滝川市教育委員会 教育総務課主査 小 西 和 真

2 各学校の取組の紹介（実践交流）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ① 江陵中学校 | ② 明苑中学校 | ③ 開西中学校 |
| ④ 滝川第一小学校 | ⑤ 滝川第二小学校 | ⑥ 滝川第三小学校 |
| ⑦ 西小学校 | ⑧ 江部乙小学校 | ⑨ 東小学校 |

3 感想交流（意見交換）

4 まとめ

5 講 評 滝川市教育委員会 教育長 田 中 嘉 樹

《閉 会》



〔主催〕 滝川市教育委員会

〔後援〕 滝川地区保護司会・滝川市PTA連合会

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立江陵中学校

感謝の気持ちを伝える絆運動 ～日頃の「ありがとう」を伝えよう～

〈 取組内容 〉

1 校内で取り組んだ絆づくり運動
～日頃の「ありがとう」を伝えよう～

昨年度の絆づくり運動では、全校で「いじめをなくすために自分たちができること」を考えて、ひとり一つ目標をふせんに書くという取り組みをしました。

今回は、「いじめをなくす」という少しマイナスなイメージから離れ、「**普段伝えられていない感謝の気持ちをメッセージにして伝え合う**」という、ポジティブで、明るい内容に変えて取り組みました。

- ①学校での関わりの中で、「ありがとう」の気持ちを伝えたい人にむけてメッセージを書く。
(クラスメートや後輩、先輩、先生方などへ)
- ②書いた内容を先生にチェックしてもらってから、模造紙に貼る。模造紙は、それぞれのクラスでデザインを工夫して描いても OK→廊下に掲示する

1学年につき3クラス、特別支援学級も含めてすべての教室で執行部の生徒が中心となり、取り組む内容の説明をしました。生徒の皆さんは、しっかり話を聞いて真剣に考えてふせんを記入してくれました。

また、書いたふせんを貼った模造紙のデザインも、それぞれのクラスのオリジナリティが出ていて、廊下に掲示されたものを休み時間などに立ち止まって見てくれている人がたくさんいました。

2 朝、登校してくる生徒にむけたあいさつ運動

生徒会執行部で、当番を決めてあいさつ運動をしました。あいさつと一緒に、手の消毒を呼びかけることもできました。同じ学年・クラスの人の様子を見て、体調が悪そうであれば「大丈夫？」と声をかけたりすることができました。

今年は江部乙中学校との統合があったため、バス時間を考えて時間を延長して行っていました。

〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 絆づくり運動は、ふせんが足りなくなるほど、みんな熱心に取り組むことができた。
- 学校が統合後も変わらず、朝元気にあいさつをかわすことができた。
- ▲ 当番を忘れてしまうことがあったので、執行部としての意識をしっかりと持つ。



いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立明苑中学校

子どもたちによる、いじめ根絶に向けた取り組み

〈 取組内容 〉

1 生徒が主体となっていくあいさつ運動

生徒会執行部や学級役員が中心となって、生徒玄関前で毎朝挨拶運動を行っています。

玄関に立って「おはようございます」と声をかけ合うことで、人と人とのつながりのきっかけ作りや一日を明るくすることにつなげたいと考えています。挨拶をしても返してもらえないこともありましたが、日々継続していくことで着実に挨拶の輪が広がっていると感じています。「あいさつの明苑」を作っていくためにとても大切な取り組みです。

人と人とのつながりという視点では、コロナ禍に入る前は、地域の除雪ボランティアを実施し、相手のために自分ができることを一人ひとりが自発的に行う取り組みもありましたが、現在は実施できていません。現在は夏休みに小学校に勉強を教えに行く、学びのボランティアを行っています。今後はコロナ禍でもできる絆づくりを継続していきたいと思っています。



2 いじめゼロのために連携を目指す取り組み

明苑中学校区では毎年継続した取り組みとなっている、いじめ撲滅集会を昨年度は各校・各学級をMeetでつないで行いました。昨年は「みんなが暮らしやすい学校生活」について事前に考えを深め、いじめ撲滅集会では各学級の考えを交流し、グループごとに今後の生活の中で意識できるよう「標語やキーワード」を決めました。話し合ったキーワードを記載したポスターを明苑中学校区でポスターを巡回し、各校で活動を振り返られるようにしました。生徒からは今回の活動を通して「いじめは人の心を傷つけてしまっていると改めて感じた」「今回話し合ったキーワードを意識して生活したい」「自分はそんな気持ちがなくても傷つけてしまうことがあるので、自分の言動に気を使うべきだと思った」などの感想が出ました。

今年度は「みんなが嫌な思いをしない学校生活」について考えを深める予定です。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○日常的にあいさつや人と人とのつながりが大切であるということを意識させるきっかけにつなげることができています。

○生徒一人ひとりが改めていじめはやってはいけないことであり、身近にあるものだと言うことに気付くことができました。

▲「あいさつの明苑」を作っていくために、挨拶運動をきっかけに全校生徒が明るい挨拶ができる明苑中にしていく必要があります。

▲今後は生徒の手で、「みんなが暮らしやすい学校生活」を作っていくようにしていきたいと考えています。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立開西中学校

生徒会挨拶運動・生徒会企画による異学年交流

〈 取組内容 〉

1 生徒会による挨拶運動

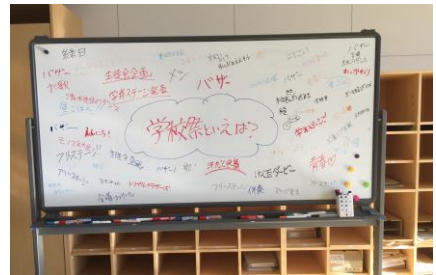
生徒会執行部が、朝の登校時間に 10 分間の時間で挨拶運動をおこなっています。

挨拶の活性化、生徒一人一人の積極性や、生徒会活動への関心を高めるなどの目的で活動しています。生活委員会も連携して挨拶運動に取り組んでいます。



2 コミュニケーションボードによる異学年交流

生徒会がテーマを企画し、ホワイトボードに全校生徒が自由に記述して、考えの交流などを行います。昼休みなど、開西スクウェア広場で、異学年が自由に接しながら、文字で交流します。



3 保体委員会主催による異学年交流レクリエーション

保体委員会が企画して、昼休みを 3 日間使って異学年チームでのドッジボール大会を行いました。学校祭直後ということもあり、生徒が企画を盛り上げ、企画を成功させようという姿勢が見られました。



4 学校祭での生徒会企画による異学年交流

学校祭の午後の部で、全校が参加型の「生徒会企画」を実施しました。

- ・簡単なクイズ
- ・学級代表が出場する「けん玉大会」
- ・先生方のかいた文字や絵を当てるの「文字当てクイズ」
- ・先生と生徒の演奏を当てる「格付けチェック」

など、約 40 分間の企画で全校が一つになって学校祭を盛り上げました。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 生徒会活動への関心が高まった
- 日常生活の中での積極的に挨拶しようとする生徒が増えた
- 全校異学年による親睦が高まった
- ▲ コミュニケーションボードではいたずら書き込みがあった
- ▲ 生活委員の中では、当番を忘れる生徒が多かった。

全校児童の「つながり」を意識した児童会活動 ～交流活動を通して～

〈 取組内容 〉

1 児童同士の交流を目指す①「全校しっぽとりゲーム」

- ▷全校での活動を通して、児童同士の交流を深めることを目的として、運動会終了後に実施しました。
- ▷そうじのたてわり班以外ではなかなかつながりがもてない全校の児童が、同じ遊びを通して交流することができました。
- ▷終了後には、とても楽しかったという声や、他の学年と一緒に遊べて良かったという声が聞かれ、目的を達成できたと思います。



2 児童同士の交流を目指す②「ニコニコデー企画」

- ▷毎月25日前後に、交流を通じて笑顔になってもらおうという「ニコニコデー企画」を実施しました。
- ▷2つの学年が体育館に集まり、「じゃんけんゲーム」で交流しました。自分の学年以外の人とじゃんけんをし、勝ったらコーンを一つ進みます。最後まで勝てた人には「王冠」がプレゼントされるという企画です。
- ▷上の学年の人が下の学年の人に優しく接したり、困っている人には声をかけてじゃんけんをしてあげたりと、ステキな交流の様子を見ることができました。



3 児童同士の交流を目指す③「あいさつキャンペーン」

- ▷登校時刻に児童玄関にたち、あいさつをする「あいさつキャンペーン」。例年行われていますが、今回は児童会三役と生活委員会のコラボレーション。より「交流」を意識した活動にするため、工夫を加えました。
- ▷①あいさつをしたらシールをもらう
 - ②「あなたならどちら？」二つの選択肢から自分はどちらを選ぶか考え、シールを貼ります。
- ▷あいさつをきちんとすることはもちろん、シールを貼りながら、「自分の考えと同じ人はどのくらいいるのかな？」と意識している人がたくさんいました。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 「交流」という主目標を常に意識して活動に取り組むことができた。他の学年との関わりをもつことで、お互いを知り、優しい気持ちで接することができた。
- 全校でのとりくみがなかなかできない状況が続いていたが、児童会三役が自分たちで考え、工夫して活動を行うことができ、自信にもつながった。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立滝川第二小学校

想いをつなぎ、みんなでつながる活動

〈 取組内容 〉

1 「ゲーム集会 ～紙ひこうき大会～」

全校で集まって何かしたい！！という考えから始まったゲーム集会。
今は、コロナ禍ということで、なかなか全校で集まることができないという点がありました。
そこで、なんとか全校で一つのことができないだろうかと考えたのが、紙ひこうき大会です。

各クラスで、飛行距離が一番の代表を出してもらい、代表が体育館に集まって1位を競いました。低学年の部と高学年の部にわけて行いました。クラスから応援をうけた代表が、体育館内で熱い戦いを繰り広げました。

全校で集まることができませんでしたが、一つの種目をみんなで行うことで、全校でつながった感じがしました。



2 「かなえます企画 ～セタイベント～」

「みんなの願いを叶えます」の企画から始まった、このイベントです。みんなで「お楽しみ会をしたい・レクをしたい」という願いを叶えました。時期に合わせて、セタイベントをすることにしました。

星型の紙に願いを書き、玄関前に掲示をしました。子ども達だけでなく、先生方にも参加してもらい、まさに全校で取り組みました。

自分自身の願いを書くだけでなく、お互いの願いを見る機会もあり、それが休み時間の話題となったりして、新たな仲間づくりのきっかけとなったこともありました。



3 「あいさつ運動」「特技披露」

書記局だけの取り組みではなく、他の委員会も、みんなをつなぐ活動を行っています。コロナ禍なので集会を行うことはできませんが、リモートを使ったりして、みんなでつながる活動を行っています。

コロナ禍だからできないではなく、コロナ禍でもできることを見つけ、みんなでつながっていきたいと思います。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 第二小学校の学校生活に、少しだったがいろいろを入れられたと思う。
- みんなの想いを聞いてイベントを企画することができ、みんなを元気にすることができた。
- コロナで同じ時間に集まることができなかったけれど、集まる場所を同じにすることでみんなと一体感を持つことができた。
- 本来、捨てられる紙を紙飛行機に再利用することができ、SDGS の面でも貢献できた。
- ▲もう少し、各イベントの呼びかけなどを丁寧にやればよかった

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立滝川第三小学校

「みんなが安心して過ごせる学校」をめざして ～絆づくりを中心とした活動～

1 児童会役員による児童玄関前での挨拶運動

『絆づくりの原点は、声を交わすことから』を合い言葉に、毎年行っているのが、児童会書記局が中心となって行っている「あいさつ運動」です。毎週水曜日の朝に行っています。

「挨拶が苦手な人もいる」ということも考えながら、手を上げたり、表情や声を工夫したりしながら行っています。

今では、私たちより先にあいさつしてくれる人や安心した表情であいさつを返してくれる人が増えてきたように感じられ、活動の意義と成果を感じています。



2 書記局が中心となって行っている「絆づくりプロジェクト」

学年を越えて交流し、絆を深めることを目的に毎年「絆づくりプロジェクト」を行っています。

今年度は「あったかスマイル（メッセージ）プロジェクト」、や「スマイルポスト」を設置して交流し、心を通わせてきました。また、体育館やグラウンドが使えない時の活動にも、力を入れてきました。

「学校生活川柳」や「モンスターボールチャレンジ」が大好評だったので、後期も、学校全体を活動の場とした『絆づくり』の企画を実施し、みんなを笑顔にしたいです。



3 書記局・各委員会の企画・運営による「絆づくり活動（集会など）」

他の委員会でも、「絆づくり」や「異学年交流」を意識した取り組みを行っています。

集会委員会の「遊ぼう集会（新聞じゃんけん）」や放送委員会の「先生紹介クイズ（動画）」などがその一例です。

書記局の活動としては、「スマイルポスト」に寄せられたアイディアや要望をもとに、「低学年と6年生の氷鬼ごっこ」を実現できたことが嬉しかったです。



4 成果や課題など

○アイディアを出し合い工夫することで「絆を深める取り組み」ができました。

○自分たちの取り組みが「明るい学校づくり」につながったのが嬉しかったです。

▲「いじめの根絶」や「絆づくり」は、「相手の立場にたって考えること」「心をあわせること」そして「続けること」が大切だと思います。これからも続けて働きかけていきたいと思っています。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立西小学校

継続する「仲間づくりプロジェクト」

〈 取組内容 〉

1 仲間づくりプロジェクト第1弾「あいさつキング・クイーンは誰だ」

〔方法〕朝、昇降口前に児童会が立ち、あいさつを一週間した。事前に全校に一週間どのよう
にあいさつするか、目標を決めて、玄関に掲示もした。この期間中に気持ちのよいあいさつ
をした人を、その日のお昼の放送で発表して、後日賞状を渡し表彰した。

〔アンケート結果〕

- ①自分はめあて通り、気持ちのよいあいさつができましたか？
はい 71% いいえ 29%
- ②校内のみんなのあいさつする意識は高まったと思いますか？
はい 90% いいえ 10%
- ③自分は今後も気持ちのよいあいさつをしようと思いますか？
はい 97% いいえ 3%



2 仲間づくりプロジェクト第2弾「じゃんけんぽんでめざせチャンピオン！」

〔方法〕ペア学年での取り組みで、昼休みにレクを行った。じゃんけんカードを用いて、
じゃんけんをして、カードに書かれた質問をし合い、親睦を深めた。

〔アンケート結果〕

- ①「じゃんけんぽんでめざせチャンピオン！」は楽しめましたか？
はい 93% いいえ 7%
- ②新しくできた友達はいますか？
はい 27% いいえ 73%
- ③この先、他の学年と、なかよくしようと思いますか？
はい 92% いいえ 8%



3 常時活動「グッドグリーティング」

昨年度同様、児童会の常時活動『グッドグリーティング』というものをした。

毎朝登校時間に合わせ児童会が、音楽を流しながら、一言メッセージやクイズなど、気持ち
よく一日がスタートできるように声かけを行った。

ほぼ一日も途切れずに、活動した。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○仲間づくりプロジェクト第1弾では、大半の児童の
あいさつの意識が高まった。

▲ただ、この期間だけあいさつをやった児童も多い。

○仲間づくりプロジェクト第2弾は、みんなが楽しめ、今後の児童会の企画に期待してくれた。

▲仲を深める活動までにはいかなかったのも、もっといろいろな企画を数多くする必要がある。

○グッドグリーティングを、楽しみに聞いてくれている児童や職員も増えた。

▲聞いているみんながもっと意識してくれる放送内容やスキルを身につける必要がある。

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立江部乙小学校

やさしい気持ち、明るい笑顔があふれる江部乙小学校

〈 取組内容 〉

1 おはよう運動

【目的】

朝の元気なあいさつで気持ちのよい一日をスタートさせよう。

【方法】

- ・よいあいさつを事前に全校児童に知らせる。
- ・書記局が交代で朝玄関に立ち、あいさつする。
- ・元気なあいさつをしてくれた人や人数をお昼の校内放送で紹介する。



2 全校遊び

【目的】

遊びを通して全校児童と仲良くなろう。

【方法】

- ・書記局が全校遊びを企画する。
- ・前期は「全校おにごっこ」を企画、実施。



3 短冊の飾り付け

【目的】

全校児童の決意や願いを交流し、絆を深める。

【方法】

- ・生活楽校委員会が企画、実施する。
- ・運動会に向けた決意や、七夕の願い事などを短冊に書いて児童玄関に掲示する。



4 なやみごとボックス

【目的】

困っている人が一人で悩まないように、みんなで助け合おう。

【方法】

- ・「なやみごとボックス」を設置し、悩みを解決する。

5 そらぶちキッズキャンプへの募金活動

【目的】

江部乙にある「そらぶちキッズキャンプ」に協力しよう。

【方法】

- ・そらぶちキッズキャンプについて知ってもらう。
- ・全校のみんなに募金への協力を呼びかける。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○積極的にあいさつする人や、お互いにあいさつする人が増えた。

○「全校遊び」や「短冊の取り組み」により、異学年の交流の輪が広がった。

▲より効果的な交流の機会が増やせるとよい。

コロナに負けない、学校を明るく元気にする活動

〈取組内容〉

1 「あいさつ運動」の実施

「あいさつの東小」と言われている東小ですが、去年はポスターや放送で呼びかけるくらいしかできませんでした。

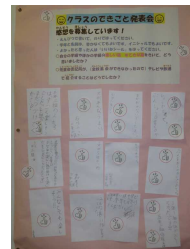
今年は、ポスターだけでなく、児童会役員が「あいさつの仕方についての動画」を撮影し、お昼の放送で観てもらうことにしました。コミカルなやりとりやクイズも好評でした。さらに、4日間だけでしたが、登校時、校門付近と玄関廊下で挨拶運動をすることができました。初めのうちは、挨拶を返してもらえなかったり、返してくれても小さい声でしたが、日を重ねるごとに、大きい声で返してくれることが増えたり、相手から先に挨拶してくれるようになりました。挨拶運動を通して感じたことやうれしかったことを、児童会便りで全校児童にお知らせしました。この活動をきっかけに挨拶の輪が広がってくれるとよいと思いました。



2 オンライン全校集会～クラスのできごと紹介

全校児童が約500人の大規模校である東小学校は、集会活動がいまだ制限されています。例年行われていた「歌声集会」のかわりに、オンラインでそれぞれの学級の魅力を紹介することによって、お互いの良さを認め合い、もっと明るく元気な学校を目指すことをねらいとして取り組みを進めました。発表内容は、1～3年生は担任の先生が中心に、4～6年生は子供たちが中心に考えました。今回は2,4,6年生が発表し、1,3,5年生が感想を言ってくれました。手遊び歌や詩の朗読、図工作品の発表、動画もあり、各学級で発表を工夫してくれたので、とても楽しい発表会になったと思います。

後日掲示板に感想を書いてもらったところ、「楽しかったので続けてほしい」、「他のクラスの様子がわかってよかった」などの感想をいただき、私たちもねらいが達成されて満足しています。コロナ禍で直接言葉を交わさなくても、温かい気持ちはお互いの心に届くことを感じました。



3 元気はつらつ朝の書記局放送

後期児童委員会の活動です。前期に引き続き挨拶運動の取り組みを考えていたところ、「朝の放送をしてはどうか」という意見がでてきました。ねらいは、放送で元気なあいさつを届けることによって、一日を明るく元気にすごしてほしいということです。

毎週月曜日の朝に、天気や休み時間の体育館割り当て、一週間の行事予定などをお知らせしています。何を話すのかを毎週考えるのは少し大変ですが、自分たちの声を届けるのが楽しみになってきました。また、水曜日と金曜日には、放送だけでなく、実際に玄関や校門前に立って、挨拶運動をしています。低学年が大きな声で挨拶を返してくれるので、私たちも元気をもらっています。

〈成果(○)や課題(▲)〉

- コロナ禍でも工夫することによって集会活動を実施でき、心のふれあいを感じることはできた。
- オンラインやお昼の放送を活用して、お互いの良さを認め合う話をするによって、クラスの仲間意識を高め、明るく元気に過ごすことに貢献できた。
- ▲いじめをテーマとして、撲滅を目指す取り組みができなかった。

2. 感想交流(意見交換)の内容

滝川第二小学校から江陵中学校への質問

振り返りのところを見たんですけど、当番を忘れないために今後どうしたら良いかの対策などは考えてありますか。

→前日に当番を確認するようにしています。(江陵中学校)

東小学校から江陵中学校への感想

1の取組で1つの目標を書くことで、達成したときに学校全体で良い方に行くと思ったので良いと思います。

滝川第三小学校から東小学校への質問

日を重ねるごとに、挨拶を大きい声で返してくれることが増えたと書いてありますが、どんなことをしたんですか。教えてください。

→大きな声で笑顔で挨拶することを心掛けました。(東小学校)

江陵中学校から滝川第三小学校への質問

モンスターボールチャレンジとはどのようなものですか。

→モンスターボールを校内に貼った宝探しゲームです。分かれた文字を組み合わせることで言葉が完成します。今回は第三小学校の合言葉『認め合い・支え合い・学びあい』からヒントを得て『みとめあおう』という言葉になるようにしました。(滝川第三小学校)

江陵中学校から西小学校への質問

「新しくできた友達はいますか？」という質問で「はい」が27%は、もともと友達だったのか、それとも効果が薄かったのかどちらですか。

→新しく友達が出来た人も少数ではありますがいました。ですがほとんどは元から友達で、その友達の中での絆が深められたということです。(西小学校)

滝川第一小学校から江部乙小学校への質問

そらぶちキッズキャンプに協力するために、私たちにも出来ることがあれば教えて欲しいです。

→難病に苦しむ子どもたちのことを理解してあげたり、難病に苦しむ子どもたちのために募金などをして、難病に苦しむ子どもたちのために協力出来ることがあると思います。

(江部乙小学校)

開西中学校から江陵中学校への感想

一番最初に話されていた「いじめをなくす」という少しマイナスなイメージから離れ、「普段伝えられていない感謝の気持ちをメッセージにして伝え合う」という、マイナスから、プラス思考に変えていくのは大事なことだと思うので、私たちも実践していきたいと思います。

西小学校から江部乙小学校への質問

なやみごとボックスには例えばどのような悩みがあり、その悩みはどのくらい解決できたのですか。

→勉強の悩みや、喧嘩してしまったことが分かったので、解決することができました。なのでこれから色々な悩んでいることを入れて貰って、これから私たちも解決していきたいと思います。(江部乙小学校)

西小学校から滝川第三小学校への質問

スマイルボックスには例えばどのような悩みがあり、その悩みはどのくらい解決できたのですか。

→寄せられた悩みは、「運動不足なので体を思いっきり動かしたい」だけでした。深刻な悩みが無く、正直ほっとしています。これからも活用しながら、明るい学校を目指したいです。

(滝川第三小学校)

西小学校から東小学校への質問

東小学校の3の資料の「低学年は挨拶を返してくれる」と書いてありましたが、高学年はどうなんですか。

→高学年は低学年に比べて挨拶が少ないです。(東小学校)

西小学校から開西中学校への感想

開西中学校さんの4番で、学校祭でも生徒会企画による異学年交流で、先生も生徒も学年の全員が参加し、楽しむことが出来ることで色々な学年と交流し、仲を深める企画で良いと思いました。

明苑中学校から開西中学校への質問

2番のコミュニケーションボードによる異学年交流のところに生徒会のテーマとあるんですが、具体的にはどのようなテーマですか。

→秋にふさわしいもの、またあるといえばあるという、誰でも思いつくようなテーマでやっていました。(開西中学校)

明苑中学校から江部乙小学校への質問

なやみごとボックスは放送で全校生徒に伝えるのか掲示で伝えるのかどちらですか。

→掲示です。(江部乙小学校)

明苑中学校から東小学校への質問

東小学校さんのオンライン全校集会のところで、今回は2・4・6年生が発表し1・3・5年生が感想を言ってくれたと書いてあるんですが、逆に1・3・5年生が発表して2・4・6年生が感想をすることも企画をしているんですか。

→それは後期に実行したいと思います。(東小学校)

江部乙小学校から滝川第二小学校への感想

「かなえます企画 ～七夕イベント～」と、私たちの学校も七夕(短冊)の企画をしていて、私たちのこの企画も間違っていないと思って自信ができました。ありがとうございます。

→間違っていないと思って貰えることが出来て良かったです。(滝川第二小学校)

東小学校から開西中学校への質問

2の取り組みでボードに書いてくれたら良い言葉を教えてください。

→前期と昨年度後期には、お題に沿っていない内容が書かれたことがありました。なので、お題に沿っている内容であれば、ある程度自由に書いてもらって大丈夫というルールになっています。(開西中学校)

東小学校から西小学校への感想

3の取組のグッドグリーティングではどんなスキルが必要になると思いますか。

→スキルとして、まず大きな声で話したりゆっくり言うこと。緊張したりする人が多いので、緊張しないとことを身につけることが必要だということです。(西小学校)

滝川第二小学校から明苑中学校への質問

標語やキーワードにはどのようなものがありますか。

→「支え合おう」などのプラスになるような標語が出てきました。(明苑中学校)

滝川第二小学校から滝川第一小学校への質問

シールは一回貰ったらもう一度貰えますか。それとも挨拶をすれば何度でも貰えますか。

→あいさつキャンペーンは一週間やり続ける企画になっていて、毎日登校すれば誰でも貰えます。なので1日に2枚は貰えないです。(滝川第一小学校)

開西中学校から明苑中学校への質問

コロナ禍でも出来る絆づくりと言っていましたが、具体的にはどのようなことをするのですか。

→まず、毎朝の挨拶運動を継続し、夏休みの行う学びボランティアの継続をしていきたいと思っています。(明苑中学校)

東小学校から滝川第一小学校及び滝川第三小学校への感想

第一小学校の1の取り組みは、学校全体が仲良くなると思うので、とてもいい取り組みだと思います。第三小学校は、2・3の取り組みは児童が楽しく絆を深め合うことが出来て良いと思いました。

滝川第一小学校から西小学校への質問

一言メッセージではどのような内容を話したのですか。

→例えば「気温の低い日は暖かい格好をしましょう」などという、天気とかそういうのに合った一言メッセージを言っています。(西小学校)

開西中学校から滝川第二小学校及び滝川第三小学校への意見

紙ひこうき大会(滝川第二小学校)やモンスターボールチャレンジ(滝川第三小学校)という他学年と交流する場があったと思うんですけども、他学年と交流する場では個人戦ではなくチーム戦でやったらどうでしょうか。

→みんなが一人一人に参加してもらいたかったから個人戦にいたしました。(滝川第二小学校)

→ありがとうございます。参考にします。(滝川第三小学校)

開西中学校から江部乙小学校への質問

なやみごとボックスという、児童の意見を取り入れたりするためのものがあると思うんですが、それには月にどれくらいの悩みなどが寄せられていますか。

→年に1つか2つぶんくらいやっているので、これから私たちも全校児童に悩みがあったら、悩みを相談してもらえそうな環境をつくっていきたいと思います。(江部乙小学校)

東小学校から明苑中学校への質問

課題でみんなが暮らしやすい学校生活のために、具体的なものがあれば教えてください。

→これから行われる「いじめ撲滅集会」で考えていきたいと思います。(明苑中学校)

滝川第一小学校から滝川第三小学校への質問

「遊ぼう集会(新聞じゃんけん)」とは、具体的にどのような内容のことをしたのですか。

→それは集会委員が計画した企画で、新聞の上に立って集会委員の人がクイズを出して、それに○か×かで答えて、間違ってた人は新聞を折って、新聞から足が出ちゃった人が負けというゲームです。(滝川第三小学校)



3. まとめ

いじめの防止は何のため？

いじめられる人を出さないため

いじめる人を出さないため



すべての人が気持ちよく生活できるため

いじめの防止の取り組み

いじめを直接テーマとする取り組み

仲間づくりをテーマにする取り組み

4. 講評

滝川市教育委員会 教育長 田 中 嘉 樹

皆さん大変ご苦労様です。各学校の子どもたち、素晴らしい発表でした。本来であれば中学校区、その中で小・中連携した取り組みが目的でありましたが、ここ数年、感染症予防でなかなかそれは出来ませんでした。今日の発表を聞きまして、それぞれの学校の中で一生懸命取り組まれていることがよくわかりました。



総じて、各学校とも挨拶運動にしっかり取り組んでいただいていることと、校内での異学年交流を意識した取り組みを行っていただきました。

江陵中学校では「ありがとうを伝えよう」ということで、メッセージを書く取り組みをされておりました。特に江部乙中学校との統合初年度でありましたが、成果に書いてありますように、統合後も変わらず元気に挨拶をすることが出来て良かったと思っております。

明苑中学校におきましては、挨拶運動を中心としまして、子どもたち自らがいじめ撲滅について取り組む「挨拶の明苑」を作っていくために、一生懸命取り組んでいることがよくわかりました。

開西中学校につきましては、パネルを使って発表していただきました。生徒会が中心となり、良い学年交流に力を注いでいることがよくわかりました。コミュニケーションボードではいたずら書きもあったとのことですが、その活動は、引き続き取り組んでいただければ良いと思っております。

第一小学校の発表の中では、「ニコニコデー」の企画及び「しっぽとりゲーム」など、ゲームを通じて繋がりを築く取り組みがよくわかりました。

第二小学校は非常に元気な発表でした。今日の中では一番元気があったと思います。第二小学校は元気な学校だということが非常に伝わってまいりました。七夕イベントで、子どもたちが一人ずつ願いを書いたとのことでした。先生も書いたとのことですが、先生はどんなことを書いたのか、後でこっそり教えていただければと思います。

第三小学校では、挨拶運動等に取り組んでおります。挨拶が苦手な人もいるかもしれませんが、その人たちもしっかりと意思表示できるように工夫をしていることが素晴ら

しいと思いました。

西小学校では、校内の挨拶に力を入れており、「あいさつキング・クイーンは誰だ」と銘打って、校内放送などで紹介する件は、良い取り組みとっております。また、「グッドグリーティング」についても一生懸命やっていただいております。これも是非続けていただきたいと思います。

江部乙小学校の全校遊びは、是非これからも広げていって欲しいと思いますし、「なやみごとボックス」も良い取り組みだと思います。また、そらぷちキッズキャンプへの募金活動も地域に貢献する取り組みについて、是非とも続けていただきたいと思います。

東小学校は「挨拶の東小」としまして、10年以上前から挨拶に力を入れて色々な取り組みを行っていただいております。今も続けており、非常に良いことだと思います。さらに、オンラインでの全校集会も今の時代にあった良い取り組みだと感じております。

コロナ禍ではありますが、各学校、本当に工夫した取り組みで素晴らしいと思いました。

滝川市内ではこういった内容で、一生懸命いじめ根絶に取り組んでいただいております。しかも児童会・生徒会が中心となって進められており、非常に良い取り組みだと思っています。しかし、残念ながら日本全国ではいじめを苦にした悲しい事件がニュースなどで取り上げられております。滝川市からは、そのような悲しい思いをする子どもたちを出さないため、仲間作りが大切です。自分たちのクラスだけではなく、同じ学年それぞれの学校の児童・生徒、みんなが仲間です。そして滝川市内の子どもたちみんなが仲間です。子どもたちの様々な取り組みをこれからも続けていただきたいと思います。ご指導いただく先生方につきましても、よろしくお願いいたします。

また、本日は多くの皆さんが会場にお越しいただいております。感謝申し上げます。子供たちの発表をお聞きいただいたと思いますが、滝川市内の子ども達は、こういうところで一生懸命いじめ撲滅に取り組んでおります。私たち教育委員会はもちろん、関係の皆さま、地域の皆さまも子どもたちの運動に是非とも力を貸していただけますとありがたく存じます。

最後になりますが、今年度も滝川地区保護司会の皆さまから、各校の皆さんに参加賞をいただいております。大変ありがとうございます。以上を申し上げまして、私からの講評といたします。本日はどうもありがとうございました。

5. 参加した児童生徒の声

- ・東小学校の「元気はつらつ朝の書記局放送」の取り組みがとても良いと思いました。
- ・開西中学校の、生徒会企画の「格付けチェック」がとても面白そうだと思います。
- ・江陵中学校のありがとうを伝える企画は、ありがとうと言われると誰でも嬉しいのでいいと思いました。
- ・開西中学校では、他学年との交流のイベントが多くあり、いい企画だなと思いました。
- ・第一小学校の挨拶キャンペーンは、シールを使うことでみんなが楽しめる企画で、挨拶と同時に全校生徒と意見交流ができるのはいいと思いました。
- ・江部乙小学校のそらぶちキッズキャンプへの募金活動は、募金はどこにすればいいかわからない人が多いと思うので、学校内でそのような活動をするのはとてもいいと思いました。
- ・どの学校でも、挨拶に関わる活動をしていたことに驚きました。いつでもどこでも挨拶は大切だと思うので、これからも元気のある気持ちのいいあいさつ運動を続けていきたいと思います。
- ・江陵中学校の「いじめを無くす」という少しマイナスなイメージから離れ「普段伝えられていない感謝の気持ちをメッセージにして伝え合う」という明るい内容に変えての取り組みや、第一小学校のニコニコデー企画のような毎月行う活動にも挑戦し、これからの明苑中学校をより良い学校にできるように取り組んで行きたいと思いました。
- ・今回の絆作り成果交流会ですべての学校がより良くなるために意見を交流し合うことができて良かったです。
- ・開西中学校さんの異学年交流レクリエーションや、第二小学校さんの叶えます企画～セタイベント～など、異学年との交流をもち、楽しめる企画を計画していきたいと思いました。また、コロナ禍で全校生徒が集まって集会などを行うことができない中、東小学校さんはオンラインを活用して集会を行っており、その中で各クラスのことを伝えあっていて、とてもいい企画だと思います。また、西小学校さんのグッドグリーティングや東小学校さんの朝の書記局放送で、天気や行事などを知らせていたり、一言メッセージを書いたりするなどの活動で、いい気持ちの切り替えになるのではないかと思います。後期の活動に取り入れたいと思いました。どの学校も挨拶を活性化させるため各自工夫していてとてもいいと思いました。あいさつ運動でも内容や方法が異なっていて、明苑中学校は当番で交代して毎日玄関前廊下であいさつ運動を行っていますが、より挨拶を活性化させるために他校の方法も参考にし、より明るい学校になるように取り組んでいきたいと思いました。
- ・江陵中学校のネガティブな言葉をポジティブな言葉にする考えがとてもいいと思いました。
- ・東小学校のオンライン全校集会はコロナ禍の今にととてもいいと思いました。
- ・そらぶちキッズキャンプの募金は初めて知って、今度機会があったらやってみたいです。
- ・第三小学校のモンスターボールが参考になりました。
- ・第一小学校の「あいさつキャンペーン」の、シール投票を取り入れたい。
- ・今後、後期に取り組んでみたい。
- ・西小のアンケートを取るのがいいと思った。
- ・開成中学校みたいに全校の交流や安全などをキーワードにして今後取り組みたい。
- ・江部乙小学校のお悩みポストの取り組みが参考になった。

- 自分たちの学校の児童はそこまで多くないけど第二小学校さんのリモートを使って各学年ことを披露したことが参考になりました。今はコロナ禍ので、今後リモートを活用し、感染対策をしながら児童の楽しめる企画をしていきたいです。
- 滝川市立東小学校のオンライン全校集会という活動が参考になりました。私達も、そのようなみんなが楽しめるような活動をしていきたいです。
- 第二小学校の資料2の企画で私達の資料3の企画に似ていて自信ができました。そしてお楽しみ会などをしたいという意見を元に実行しているところを参考にしてみたいです。
- 滝川第一小学校の「ニコニコデー企画」というのが、ゲームをしながら他学年と交流できて、楽しい企画をできてるので、すごく良い企画だなと思いました。私達の学校でも、そのような企画を参考にしたいと思っています。
- コロナ禍ですが、全校レクをしっかりと感染対策をして行ってみたいです。
- 開西中学校のコミュニケーションボードはいいと思いました。いたずらなど、目的と違う使われ方があることがないように、改善して第三小学校でも取り組んでみたいです。第三小学校をもっと良くするための参考になりました。ありがとうございました。
- 滝川第二小学校の七夕イベントは学年関係なく楽しめて、友達の願い事や他学年の願い事を見れるので、「見て楽しみ実行して楽しめる」いいアイデアだと思ったので参考にし、第三小学校に取り入れたいと思います。ありがとうございました。
- 緊張しましたが、自分達が行っていた活動を発表できて良かったです。第二小学校の話し方がとても聞きやすかったので真似したいです。第一小学校のニコニコデー企画がほんとにニコニコできるような企画なので良いと思いました。他の学校、中学校での活動も良いと思ったので参考にしたいと思います。ありがとうございました。
- 第二小学校の取り組みが参考になりました。他の小学校、中学校の人の声のボリュームが良かったです。みんなの前で話すのが緊張したけどはきはきと言えたので良かったです。参加態度を気をつけて交流会に参加できました。ありがとうございました。
- 第二小学校のかなえます企画～七夕イベントをやってみたいと思いました。始まる前はすごく緊張したけれど、会が進むと緊張もなくなり質問も自信を持って言うこともできました。参加してすごくいい経験になりました。ありがとうございました。
- 第一小学校の取り組みが参考になった。
- 発表のときにつっかからずに発表できたので良かったです。絆づくり成果交流の時に、自分の質問に答えてもらったのが、嬉しかったです。ありがとうございました。
- 今後は、他の小中学校の活動を似たような感じで取り入れてみたい。
- 今後は、他の小、中学校の活動も取り入れたいです。
- 一定の人しか企画に参加できない企画が多かったが他の学校を見ると、全員でできるものをやっていた学校があったので今後、全員でできるような企画に取り組んでみたい。
- 開西中学校の異学年交流レクリエーションの取組が参考になった。今後、異学年との交流や児童と先生方との交流に取り組んでみたい。
- 第二小学校の企画が参考になった。あいさつを積極的に取り組む企画が多くて参考になった。児童が楽しめるような取り組みもあった。
- 今後いろいろな紙でリサイクルとして使いたいです。{他校の参考}

